

10月8日、オフィスを移転しました。以前の直ぐ近く、東京都南青山5丁目16-3 メゾン青南10階です。電話FAXは変わりません。お近くにいられたら是非お立ち寄りください。

UTOはカシミア&ハイクオリティニット、貴方のお好きな色で、サイズで作りますというコンセプトでニットのセミオーダーを始めたのが10年前でした。一枚ずつ作ると言う業界では非常識な試み、多くの工場さんをお願いして回りましたが作ってくれるところが無く、やっと今の形になったのが4年前。最初は『注文した製品が本当に納品されるのか』と心配される現実でした。以来、お客様で売上也順調に伸び、人も増え事務所が手狭になって移転しました。今度は以前の二倍以上の広さになりました。

秋本番になってカシミアフェアは受注中心から現物先行になります。現物フェアには限定品も出品します。

UTOのホームページが一新しました。是非一度覗いてください。uto-knit.com

【秋のカシミアフェアは現物販売と受注の二本立て】

春夏シーズン中のカシミアフェアは先物受注だけでしたが、秋冬シーズンが立ち上がるのと現物が中心です。その場でお持ち帰り戴ける現物商品を買し出します。その中には受注会ではお受けできない作りや色の製品も多数用意しました。

勿論『お客様の希望の色で(細番手54色十太番手6色)、希望の寸法で(裾や袖リフの変更などの変更も含めて)作ります』という受注は今までどおりお受けします。お気軽にご連絡ください。

【限定品とは】

同じ色の糸が終了して、新たに注文が受けられなくなってしまう貴重な色の商品。製造に手間がかかりすぎてサイズ展開やオーダーを受けられない商品。色んな色の糸をミックスさせて作った一点物。

襟付きジャケット

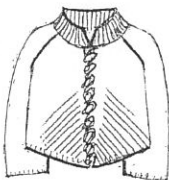
No. 2225 ¥53,000.-



二重になった天空のヘチマ衿、裾のフリル、袖口のカフス。明るい柔しさ満載のジャケット。最高に贅沢なカジュアルジャケットで出かけてみませんか。

1.5 ゲージ前切り替えPO

No. 1522 ¥45,000.-



ちびV衿、ザックリの1.5ゲージボディと袖のケーブル編みは手織ならではの凹凸感。一見手編みかと思う迫力です。UTOならではのカシミア100%の贅沢

天使*トルネック*ノースリーブ*

No. 1111 ¥32,000.-



あのふんわりの天使シリーズのトルネックです。ノースリーブの袖口、衿端、裾に2色になった配色で、晩秋からブラウスに重着して楽しさを演出してください。



スグリ

【南青山界限】 UTOはこんな街から発信しています
北杜夫が描く檜家は近所さん
檜家の人々の跡

高校生の頃から北杜夫の小説が好きで殆ど読みました。特にドクトルマンボウシリーズは『航海記』や『昆虫記』など、軽妙な文章とユーモアが大好きでした。文学小説の方はマンボウシリーズとは一変しちょっと陰にこもったかなり重たい文章ですが、『檜家の人々』、『木霊』や『白きたおやかな峰』などが好きです。中でも『檜家の人々』が最も印象的です。

この檜家の人々は、文明開化の明治期、山形の田舎から上京し日本で最初に私立で設立された精神病院にまつわる物語。明治・大正・昭和の激動の時代を背景にした長編小説ですね。

筆者・北杜夫自身の父母、祖父母の実話を元に書かれたというところは容易に想像できません。医は仁術というより、医は算術みたいに精神病院で大成した創立者で院長の基一朗は太っ腹で愛すべきハツタリヤとして登場します。

患者の頭に聴診器を当てて、『僕はドクトル・メジチーネでねえ』と威厳に満ちた言葉遣いで『君の脳は腐っている、でも僕の薬を飲めばたちどころによくなる』とのたまうシーンなどは噴出してしまいます。こんないい加減と思えるユニークなお医

者が患者や患者の付き添いから絶大な効果と信頼を得ているんです。

一方、大病院という成功の元で蝶よ花よと育てられた娘達。対照的に入り婿として有能ではあるが超まじめな夫は、病院経営は不向きと自覚しながらも経営者として病院を支え自らの研究のためにドイツに留学する。この二代目が作者の父でアララギ派の歌人で青山脳病院院長の斎藤茂吉がモデルあるの言うまでもありません。

そして初代、二代目に比べると恵まれた境遇で裕福に育った為にひ弱で闘争心に乏しい自分たち三代目。そんな成り上りの家族模様をシャヤに幾分自嘲気味に書き上げた長編小説。

この舞台の檜家が南青山四丁目一七四三。UTO(骨董通り)からすぐです。オージグリーンヒルアパートメントという高級マンションのあるところで、二一帯が檜家の人々の帝国脳病院・青山脳病院の舞台跡です。入り口の港区保存樹木の大きな楠木が目印で、句碑が立っていて『童馬山房』と記されています。童馬とは斎藤茂吉の雅号で、大正二年、斎藤茂吉が三十一歳のときの短歌が刻まれています。

あかあかと一本の道通りたる
雪剋るわが命なりけり

明治四十二年発行の地図にここは青山脳病院と記載があります。多分現在の教職員組合フロアラシオンの辺りから、一方通行の入口のデนมールハウス辺りまでが当時の病院跡ではないかと思えます。かなり広大な敷地で、新築社の単行本の某に当時の青山脳病院の写真が載っています。この建物の模型を山形の斎藤茂吉記念館で見ましたが、中世ヨーロッパのお城を思わせるような建物です。たまには文学散歩気分が檜家の人々の世界に浸りたいんですが、この頃はここをもっぱら自転車で駆け抜けています。



* ニットの話 * (十六)

そもそもニットとは

生地が伸びるニット、伸びない織物

さんさんニットの話をしながら『今ごろ、そもそもニットとは』なんて順序が逆じゃありませんか?という声が聞こえてきそうですが、これが結構むずかしいんです。英語を話せるのに文法が難しいのと同じようなもので、要は話が出来て通じれば良いし、堅い話は面白くありませんがこれを理解しているととっても便利です。

お店に並んでいる商品をぐるっと見渡してどれがニットでどれが布帛か識別してみてください。

セーターは勿論ニットですね。Tシャツなどのカットソーもニットですね。あとはソックスがあるかもしれませんが。残念ながらニット製品はそのぐらいかもしれませんね。

大半が布で作られた布帛の商品だと思えます。上着、スカートやパンツ、ブラウスやシャツ等。コートも殆ど布帛ですね。特に冠婚葬祭や公の時の勝負服といったときはやはり布帛になってしまいますね。ニット製品はカジュアルが主体でしょうから。

そもそもニットってなんですか?というとなんだか授業みたいになってしまいますが、一番手っ取り早く理解するのに便利なのがニットに相応する言葉です。ニットに対しては布帛です。ニットを説明するのはニットと布帛の違いを説明するのが一番理解しやすいようです。

店内をぐるっと見渡してビックアップしたニット製品は、実は生地が『ループ状の編地』になっているのです。

太い細かいの違いが有っても、編地がループ状になったセーターもTシャツもニットです。ループ状ですから『伸び縮みがします』。この伸び縮みがニットの最大の特徴で、体の動きにあわせて生地が伸び縮みするので着いても楽なんです。ニットの編地に対する布帛の織地は縦糸に横糸を渡しながら織るので『格子状』になって『伸び縮みしません』。



ということは安定した布が出来るといことです。

ニットの中に『セーター』と『カットソー』があり、その違いはなんですか?

家庭用の編み機を見たことがある人なら容易に理解できると思いますが、ニット編み機は横にずらりと並んだ針の上を、カムを左右に動かしてループを作ることで編んでいきます。左右に動かしながら編む機械を横編み機といえます。編みながらパターンを作っていくことができます。家庭機も横編み機のひとつです。

ニットはアラビアの遊牧民により手編みで編まれたのが起源だといわれています。羊飼いがいつも接している羊の毛糸にして、その毛糸玉をポケットに入れて道端の石に腰掛けて羊達を見守りながら編んでいたのでしょうか。緑の草原に羊を追いつた手仕事。ということは男の仕事だったんでしょうか?

この様にニットの基本は手編みです。手編みで編めないものはないといわれるぐらい手編みは万能です。手編みは二本の編み棒でひと目ひと目編まれていきますが、編み進んでいくループ状の目は横のほうに増えながら編地が出来ていきます。その手編みを発展させて機械化したのが横編み機です。機械に並んだ針一本一本が編み棒で編む回数分の役目を果たします。この様に編まれるのがセーターです。

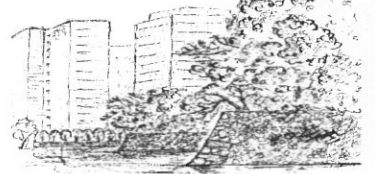
この横編みに対して丸編みといつてぐるぐる回りながら筒状に編地を編んでいく機械を丸編み機といえます。筒状ですからそのままセーターには出来ませんがからカッターというゆるいカッターで編む、いわゆるニットには横編みで成形しながら編む、いわゆるニットに対する呼び方なんです。

忙中暇話・ニット屋のたわごと

お勧めの名画 東京国立近代美術館の『平成皇居春夏秋冬園』

東京に住んでいて便利なことの一つが美術館や博物館などの施設が揃ってたり企画展が頻りに開催されたりして一流の芸術と容易に接する機会に恵まれていることです。

地下鉄東西線の竹橋にある国立近代美術館は休日のその日に思い立っても気軽にいくことが出来るので年に5、6回はぶらりと出掛け行きます。



素晴らしい芸術を鑑賞することは大好きなんですすがこれが結構疲れます。皆さんはどうですか?僕は2、3時間も絵を見てるととっても疲れるんです。腰痛もちのせいもあるかも知れませんがそれだけではなさそうです。じつくりと芸術を堪能するなんて心身ともリラックスという感じがするんですが、現実には素晴らしい芸術に心は喜んでいてもきつと貧弱な僕の脳が芸術の刺激で知恵熱を出してアップアップしているんです。

そんな頭や体を休めるために館内にカフェやレストランがあるのも助かります。嬉しいことにそのレストランがこの頃とてもお洒落になりました。皇居を望む2階のテラスにガラス張りの明るいレストランで館内だけでなく外からも入れるレストランです。ランチも千円ぐらいでなかなか美味いし、サービスもいいです。でも休日のお昼は混みます。

この東京国立近代美術館が僕が一番気に入っているのが4階にある休息所です。カフェではなくジュースの自動販売機が置いてあるだけの休息室というのが残念ですがかなり座り心地のいい椅子があり静かで何より抜群の眺めです。目の前に皇居のお濠と石垣の上に広がる緑の森が窓いっぱいには広がっています。懸崖のように石垣からお濠に向かって橋を伸ばす木々。左手の方は平川門からお濠に架かる橋が見え、背後に大手町から東京駅までビル群がそびえています。右手の方は北詰橋門と屋根付の白塀が続き赤坂通りのビルまで一望です。

この風景を川合玉堂が描いたら、梅原龍三郎が描いたらどんな絵になるだろうと創造しただけでもワクワクします。東山魁夷の『道』をはじめ館所蔵の作品も入れ替えや貸し出しで見れない時がありますが、この眺めは常設です。しかも季節や天候によって変化し館内の名画に一步も引けを取らない絵です。この絵なら30分眺めていてもちっとも疲れません。ここで優雅にコーヒーが飲めたらどんなに美しいだろうと思います。

竹橋の東京国立近代美術館に行かれたら、是非4階休息室の『平成皇居春夏秋冬園』を是非お勧めです。

世界のホテルを旅する(十六)

元、旅行屋のお勧め。エルトビレ・ドイツ ホテル シュロス・ラインハルツハウゼン

ワインブームはどうやら本物になって、日本人の生活に定着しつつあるようです。カリフォルニアとかオーストラリアなどのワインもよく見かけるようになりまして、何となく本場はヨーロッパ。中でもフランス、ドイツ、イタリア。特にシャトーものといわれる種上ワインは、何々家の畑で獲れた葡萄を伝来の技法で作った逸品と言ったところで、その何々家と言ったのが農園主であり館なんです。シャトーとはフランス語で城、農園主の館も意味します。ドイツ語ではシュロス。

今ご紹介するホテル シュロス・ラインハルツハウゼンは、ドイツ代表のラインワインのお城なんです。

ライン河観光は、大聖堂で有名なケルンの下流のマインツからコブレンツという街の間が一番の見所です。多くの観光船がここを上り下りしています。兩岸の断崖の上には歴史的な古城が次々と現れ、ハイネの歌で有名ローライの岩もここにあります。よくライン河の風景として紹介されるのがここです。



その中ほどのエルトゼルという小さな街外れにホテル シュロス・ラインハルツハウゼンがあります。この領主はマリアンというロシアのお姫様だったそうで、ドイツ特有の質実剛健というより、お姫様のお城らしく明るくフランス風のエレガントな豪華な古城ホテルです。ライン河の斜面に広がる広大なぶどう畑の中に建てられていて、十九世紀初めに書かれたという絵や、古い家具が置かれ、優雅な気分させてくれます。到着した翌朝早く、ぶどう畑のあぜ道を散歩しているとき、朝霧の立ち込める中で路傍のキリスト像に出会って、「ああ自分は今ヨーロッパにいるんだ」と実感したことを思い出します。日本でいうと道端のお地蔵さんのような感覚なんですよ。

ワインの産地は河の周辺が多いのですが、河の兩岸は良い葡萄が獲れるんだそうです。ライン河が温度と湿度を調節して、上からの太陽と川面から反射した太陽、二つの太陽の恵みがいいワインを作るんです。と、ワイン造りのエピソードをこのホテルの女性オーナーに教えてもらいました。ワインセラーで試飲させていただいたワインはもちろん自慢の白ワインのシュロス・ラインハルツハウゼン。全くの下戸の私はせっかくの極上のワインは駄目でしたが、皆は大喜びでした。以来、日本でワイン売り場があると買いたくないのにこのシュロス・ラインハルツハウゼンを探してしまいます。